

What's New From ASCIKU

関西大学科学技術振興会 No.2 1 October 2009

平成 21 年度 第 5 回研究会を開催 10月24日(土)

今年度の研究会は、「企業側から、独自のものづくりを展開されている個性豊かな経営者からの講演、および大学側から、社会の課題実現につなぐ先行的な研究について研究員からの講演」の企画により開催します。会員、研究員、大学院生等、38名の出席でした。

1. 「生物由来多糖の機能および物性の改良」

関西大学化学生命工学部 准教授 河原 秀久 氏

植物由来多糖及び海藻由来多糖から製造された増粘性多糖類は、ゲル化剤や増粘安定化剤としてゼラチンや寒天などの食品材料として主に利用されています。また、これらの用途以外にも食物繊維などの機能性食品素材としても期待されています。河原先生は、増粘多糖類として利用されているローカストビーンガム(LBG)分解物を発酵によって生産し、得られた分解物が元の多糖より高機能であることを LBG 分解物である高機能ガラクトマンナンの特徴を例に取り説明されました。

また、紅藻海藻類に含まれる天然高分子化合物であるカラギーナンは、ゲル化材や増粘材、安定剤などに使用されているが、工夫により今世界中で求められている AIDS 薬としても可能性があるのではないかと指摘が質疑応答の中で出され、この研究の可能性の高さをうかがわせました。



2. 「『高槻寒天』の取り組み」

株式会社 タニチ 代表取締役 川畑 孝彦 氏

(株)タニチは、従業員 15 名の小さな会社ではあるが、『高槻寒天』が持つ歴史と伝統を受け継ぐ優れた技術を持つ会社として、天然寒天は勿論のこと工業用寒天の生産も行なっています。

社長である川畑氏は、高槻寒天を食品繊維成分の多い胃腸に優しい健康食品として位置づけ、参加者に天然寒天や工業寒天がどういうものかサンプルを回覧して示しながら、その良さを紹介されました。

ミネラルの宝庫といわれる海藻の商品開発にも力を注ぎ、今後の発展が期待される優れた企業です。

皆さんも、寒天料理をお試しあれ。



お知らせ 1

環境都市工学部 坂野昌弘教授が、近畿地方整備局研究発表会 防災・保全部門にて優秀賞を受賞

7月9日(木)～10日(金)に開催された平成21年度近畿地方整備局研究発表会 防災・保全部門において、環境都市工学部 坂野昌弘教授が優秀賞を受賞されました。



お知らせ 2

化学生命工学部 石川正司教授の記念講演会を開催 「関西大学技術交流セミナー2009」を2009.10.22に開催

「What'sNewFromASCIKU No.18 (June 2009)」で、石川先生の研究が文部科学省科学技術政策研究所「代表的成果 39 事例」に選定されたことをお知らせしましたが、これを記念し、関西大学東京センターにおいて、関西大学技術交流セミナー2009 が下記のとおり開催されました。

本セミナーは、化学生命工学部 教授 石川正司の研究が文部科学省科学技術政策研究所による「代表的成果 39 事例」選定研究課題として選ばれたことを受け、同研究内容を中心に報告を行ったもので企業や研究機関から多数の方々のご参加を得て、熱心な討論が展開されました。

■ 関西大学技術交流セミナー2009 ■

日 時：平成 21 年 10 月 22 日 (木) 14:00~18:00

場 所：関西大学 東京センター

テーマ：「未来型蓄電デバイス」

(文部科学省科学技術政策研究所「代表的成果 39 事例」選定研究課題)

講 演：「未来型蓄電デバイスの創成」



関西大学 化学生命工学部 教授 石川 正司

講 演：「電気化学蓄電デバイスに対する期待」

早稲田大学 高等研究所 准教授 門間 聰之 氏



登壇者ご紹介 (登壇順)

石川 正司 (いしかわ まさし)	
	関西大学 化学生命工学部 教授、同先端科学技術推進機構 機構長。工博。電子移動反応の研究を経て、1990 年頃からリチウム二次電池とキャパシタの研究を開始。大学における電気二重層キャパシタ材料研究者の先駆であり、以来キャパシタから二次電池にわたる電解質と電極材料の研究を展開。企業との共同研究も多く手がけ、現在、ナノ材料の応用や独自の材料高性能化技術を駆使して高エネルギーデバイスを開発中である。
門間 聰之 (もんま としゆき) 氏	
	早稲田大学 高等研究所 准教授。博士 (工学) 早稲田大学。小型電子機器用小型電源の実現に向け、次世代の二次電池・燃料電池実現のための、材料設計・開発からデバイス構造の検討、デバイス特性評価を行っている。高い性能を有する材料の設計と開発から、デバイスとして組み込むための構造、特に電子移動、電荷移動、物質移動を考慮に入れた構造の設計、デバイス実現のための作製プロセスの検討を行っている。また、その評価法の開発も行っている。

振興会のホームページ <http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/sinkokai/index.html>
関西大学 HP からサイト内検索で「振興会」を入力して下さい

ASCIKU 関西大学科学技術振興会
Associative Society for the Collaboration between Industries and Kansai University